News Release

2026 年 7 月 27 日
株式会社スマートバリュー

# 当社連結子会社の One Bright KOBE／ストークス、JR 西日本と「まちづくり VX パートナー」として連携強化

**～GLION ARENA KOBE の熱狂を起点に、更なる来訪・回遊・再訪を生み出す神戸のまちづくり～**

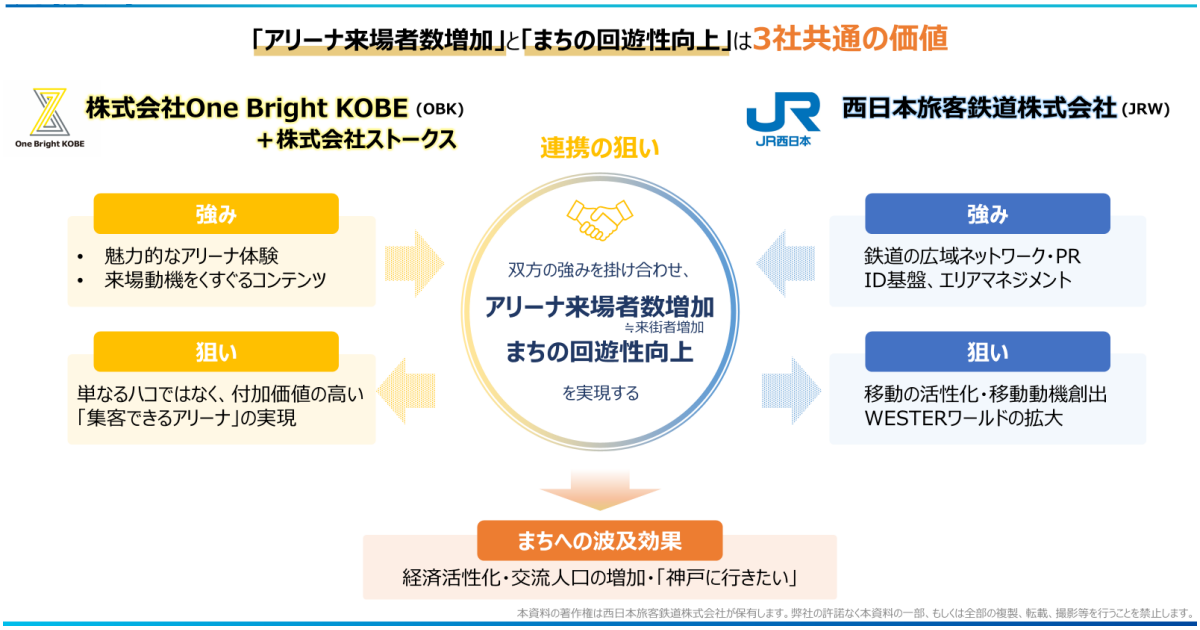
株式会社スマートバリュー（本社：大阪府大阪市、取締役兼代表執行役社長：渋谷 順、以下「当社」）の連結子会社である株式会社 One Bright KOBE（兵庫県神戸市、代表取締役社長：渋谷 順、以下「OBK」）と株式会社ストークス（兵庫県神戸市、代表取締役社長：渋谷 順、以下「ストークス」）は、西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪府大阪市、以下「JR 西日本」）と神戸の都心・ウォーターフロントにおけるまちづくりに関して連携を強化いたします。2025 年 4 月に開業した「GLION ARENA KOBE」の熱狂を神戸のまち全体へ広げ、神戸というまちそのものの価値を高めていく取り組みを本格的に進めてまいります。
パートナーシップ強化の節目として、従来のパートナーシップ名称である「データソリューションパートナー」から「まちづくり VX パートナー」（※1）として名称を新たにし、連携強化を加速してまいります。

(※1)パートナーシップ名称 「まちづくり VX パートナー」について
「V」は「熱狂：Vibes」。双方が持つアセットを掛け合わせながら、熱狂を生み、まちの価値を高めていく「個客起点」「拡大」「変革」「無限」を表す「X」を加え、命名しました。

## １．今回の連携強化で目指すこと・狙い

OBK、ストークス及び JR 西日本（以下、「3 社」）は共通の理念として、「人・まちをつなぎ、心を動かしながら、未来をつくる」ことを目指しています。3 社で連携しそれぞれの強みを発揮しながら実装する施策を通じ、「アリーナ来場者数増加」（ひいては来街者の増加）と「まちの回遊性向上」を創出し、神戸というまちの盛り上げに大きく貢献していきます。






## ２．３社が目指すビジョン

3 社は、「熱狂が“つなぐ”まち」という共通のビジョンを掲げます。GLION ARENA KOBE の熱狂を起点に人の流れを神戸のまち全体へと広げ、来訪・回遊・再訪の循環を生み出す持続的なまちづくりを推進します。

3 社が大切にする「人と人」「日常と非日常」「次の来訪」「点と点」「移動」「時間」「経済」「日本全国」への 8 つの“つなぐ”を軸に、具体的な施策を展開していきます。




## ３．連携の経緯

OBK は 2025 年 4 月に GLION ARENA KOBE を開業し、プロバスケットボールチーム『神戸ストークス』のホームゲームや国内外アーティストのライブコンサート、TOTTEI でのイベント等、多彩なコンテンツを展開してきました。「この世界の心拍数を、上げていく。」を存在意義に、Commons Tech KOBE(※2)の推進や TOTTEI KOBE アプリの普及を通じ、新たな賑わいと回遊を

生み出してきました。2026 年秋には神戸ストークスが B.PREMIER リーグに挑戦することが決定し、アリーナ稼働率も 4-7 月で 85%以上を記録するなど、熱狂が一層高まっています。
JR 西日本は「JR 西日本グループ中期経営計画 2030」（2026 年 4 月公表）で、モビリティ・生活サービス・インフラソリューションの 3 分野が連携する「まちづくり」を掲げ、新駅ビル開業を控える神戸エリアを重要拠点と位置付けています。周辺エリアの空間づくり検討や「Sannomiya City Xmas」での「B 面神戸マップ」展開を通じ、駅からまちへの回遊促進に取り組んできました。3 社の連携は 2024 年 3 月の施設管理領域での課題探索から始まり、ビーコンインフラや AI カメラ「mitococa」の実装など多方面で関係を深化してきました。今回の連携強化を機に、まちづくり分野での連携を一層強化します。

(※2) Commons Tech KOBE
神戸市と当社が締結した事業連携協定「都心・ウォーターフロントエリアの未来づくり」に基づき、三宮・ウォーターフロントエリアの回遊性向上や、デジタルイノベーションの社会実装を行い、来訪者を中心にエンゲージメントを高めて関係人口の拡大に取り組むコミュニティ・プラットフォーム。

## ４．今後の具体的な取り組み（2026 年 8 月～）

3 社は、OBK の魅力的なアリーナでの観戦体験やストークスのコンテンツ力と、JR 西日本のモビリティの広域ネットワーク・ID 基盤（WESTER ワールド）・エリアマネジメント力を掛け合わせ、以下のような取り組みを進めていきます。

- 神戸市内、京都・大阪を中心とした近畿圏、新幹線沿線、海外・インバウンドなど、エリアごとの特性に応じた誘客コンセプトを整理し、各エリアからの来街を促進
- 「Daiichi Life Group Presents BLACK SAMURAI KOBE CAMP」（8 月 5 日）、「KOBE RISING」（8 月 22 日・23 日）を皮切りに、B.PREMIER における神戸ストークスの試合（9 月 26 日～）、2026 年の集大成として年末興行「KOBE MUSIC COMMONS2026」（12 月）など、アリーナで開催される多様な大型興行と「wesmo!」や「tabiwa」など、JR 西日本のデジタルアセットとの様々な連動施策を推進



## ５．連携の先に見据える世界観

3 社の連携により、コンテンツが人を動かし、アリーナがまちを動かし、モビリティがまちをつなぐ「神戸モデル」が実現できると考えています。「神戸モデル」はコンテンツ×アリーナ×モビリティによるまちの活性化モデルとして確立され、日本全国へ広がり、にぎわいをもたらすものとなります。




## ６．共同メッセージ

**株式会社 One Bright KOBE　/　株式会社ストークス**
**代表取締役社長：渋谷　順**
「GLION ARENA KOBE の熱狂を、神戸のまち全体のにぎわいへとつなげていくことが私たちの使命です。JR 西日本様との連携を通じて、より多くの方に神戸の魅力を届け、人と人、人とまちがつながるまちづくりを実現してまいります。」

**西日本旅客鉄道株式会社**
**取締役兼専務執行役員 共創ソリューション本部長：奥田　英雄**
「モビリティを軸とした広域ネットワークと ID 基盤を活かし、OBK/ストークスの皆さまとともに神戸のまちの来街者を増加させ回遊性を高めてまいります。GLION ARENA KOBE を起点とした人の流れを神戸全体、そして日本全国へとつなげ、持続的に成長するまちづくりに貢献してまいります。」

**神戸市**
**理事兼港湾局長：山本　雄司**
「OBK/ストークスと JR 西日本という、神戸のまちづくりを支える重要な事業者の連携が実現したことを、神戸市として大変嬉しく、また心強く思っております。3 社はいずれも神戸のまちにとって欠かせない存在であり、それぞれの強みを掛け合わせた今回の取り組みが、まちのにぎわいと魅力向上にもたらす効果は非常に大きいと考えています。神戸市としても、この連携を全面的にバックアップし、共に神戸の未来を盛り上げてまいります。」

**株式会社 One Bright KOBE 会社概要**

| | |
|---|---|
| 名称 | 株式会社 One Bright KOBE |
| 代表 | 代表取締役社長 渋谷 順 |
| 所在地 | 兵庫県神戸市中央区新港町 2-1 |
| 出資企業 | 株式会社スマートバリュー、株式会社 NTT ドコモ |
| 公式 HP | https://www.totteikobe.jp/ |

**株式会社ストークス 会社概要**

| | |
|---|---|
| 名称 | 株式会社ストークス |
| 代表 | 代表取締役社長 渋谷 順 |
| 所在地 | 兵庫県神戸市中央区新港町 2-1 |
| 公式 HP | https://www.storks.jp/ |

**株式会社スマートバリュー 会社概要**

| | |
|---|---|
| 名称 | 株式会社スマートバリュー |
| 代表 | 取締役兼代表執行役社長　渋谷 順 |
| 所在地 | 大阪府大阪市中央区安土町 3 丁目 5-13<br>本町ミッドキューブ 12F WeWork 本町内 |
| 設立年月 | 1947 年 6 月 |
| 資本金 | 1,044,944 千円（2026 年 6 月末現在） |
| 上場市場 | 東証スタンダード市場（証券番号：9417） |
| 事業内容 | クラウドソリューション事業 |
| 公式 HP | https://www.smartvalue.ad.jp/ |

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社スマートバリュー 社長室 Division 大門・松山
TEL：06-6227-5577　MAIL：info@g.smartvalue.ad.jp
お問い合わせフォーム：https://www.smartvalue.ad.jp/contact/